

〈九月の言葉〉

「倫理研究所」発行 職場の教養より

「お金は敏感な生き物」

お金は敏感な生き物と考えられます。使い方次第では、自然に集まり、時として無情にも離れていくものです。自分の欲を満たすためだけにケチケチと使うのはお金が離れていくようなことを進んで行っているのと同じです。逆に必要なことに対してや、誰かのためにという思いで使う場合はお金を十分に生かすことになります。お金は、自分の手許を離れていく時から自分に戻ってくることを意識しておくべき存在です。時には手許にあるお金に静かに正対して「いつもありがとう」と念じましょう。